

＜石川＞金沢市ごみ処理施設の余剰電力を 活用した電気の地産地消について

2022年9月30日

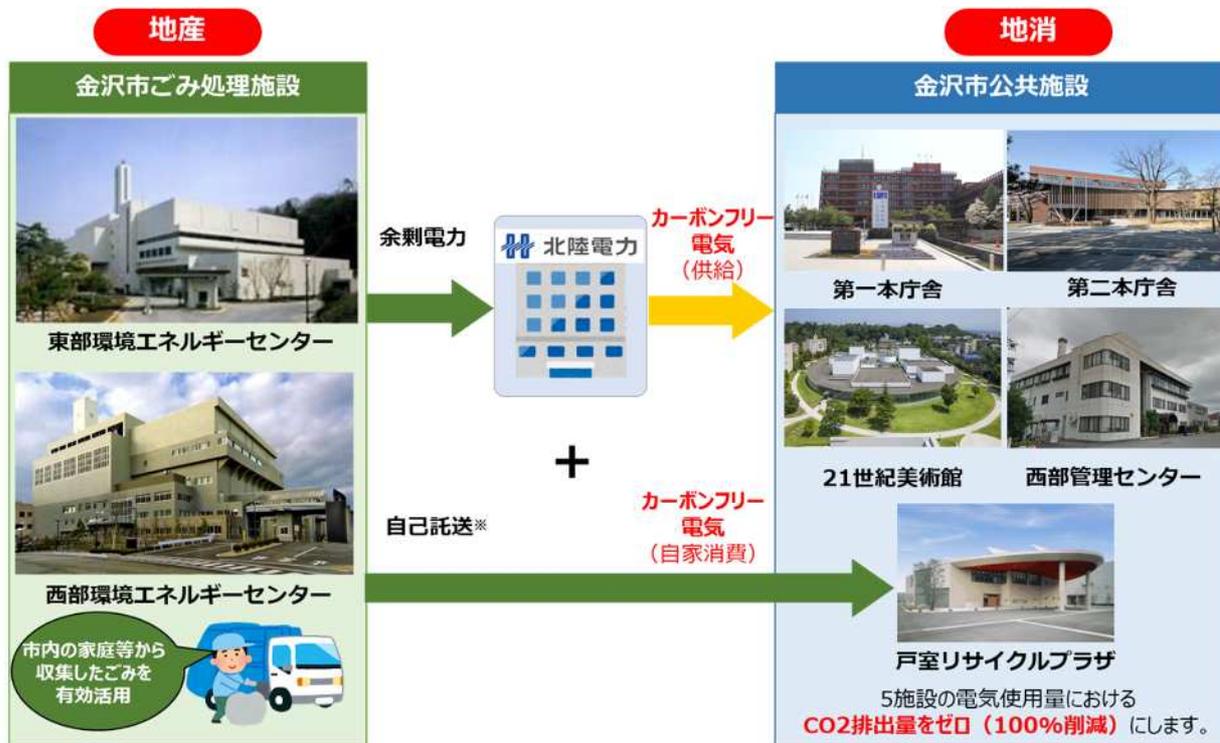
金 沢 市
北 陸 電 力 株 式 会 社

金沢市と北陸電力株式会社（以下、「北陸電力」）は、「ゼロカーボンシティかなざわ」を推進するため、2022年10月1日より、金沢市のごみ処理施設である東部・西部環境エネルギーセンターの余剰電力を活用した電気の地産地消を開始します。

■概要

本取組みは、市内の家庭等から収集したごみを東部・西部環境エネルギーセンターで処理することで発電されたCO₂ゼロの余剰電力を活用して電気の地産地消を行うものです。余剰電力を自己託送制度による自家消費に加え、北陸電力による金沢市公共施設への供給を組み合わせた地産地消の取組みは、北陸地域で初の事例となります。

本取組みにより、金沢市の公共施設5施設の電気使用量におけるCO₂排出量をゼロ（100%削減）にすることができます。



※自家発電設備を有するお客さまが、一般送配電事業者が維持及び運用するネットワークを介して、発電設備とは別の場所にあるお客さま施設に電気を送り、使用する制度です。

なお、自己託送制度による自家消費は戸室リサイクルプラザで行い、他4施設は余剰電力による供給を行います。

■お問い合わせ先

金 沢 市：環境政策課ゼロカーボンシティ推進室 （電話）076-220-2507

北陸電力：石川支店 営業部 営業担当 （電話）076-233-8881

以上